

領域	専門基礎分野	授業科目	病理学Ⅳ	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業回数	14回
担当講師名	非常勤講師		講師所属		
特記事項	—			—	

授業のねらい

脳神経・運動器障害及び免疫機能障害において、それが生活にどのように影響を与えているかを理解し、必要な看護につなげてほしい。

授業目標

脳神経疾患の病態生理・症状・治療・検査について理解する。

運動器疾患の病態生理・症状・治療・検査について理解できる。

アレルギー・膠原病・感染症の病態生理・症状・治療・検査について理解する。

授業概要

(脳・神経) (12時間)

1. 脳神経疾患の理解

1) 脳疾患

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 脳疾患 | (2) 脊髄疾患 |
| (3) 末梢神経疾患 | (4) 末梢性顔面神経麻痺 |
| (5) 片側顔面けいれん | |

2) 神経・筋疾患

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 重症筋無力症 | (2) 進行性筋ジストロフィー |
| (3) 筋緊張性ジストロフィー | (4) 周期性四肢麻痺 |
| (5) 筋委縮性側索硬化症 | (6) 多発性筋炎・皮膚筋炎 |

3) 脳・神経系の感染症

- | | | |
|--------|---------|------------|
| (1) 脳炎 | (2) 髄膜炎 | (3) 神経系感染症 |
|--------|---------|------------|

4) 中毒

- | | | |
|----------------|-----------|---------|
| (1) 一酸化炭素中毒 | (2) 水銀中毒 | (3) 鉛中毒 |
| (4) アルコール中毒 | (5) 睡眠薬中毒 | (6) スモン |
| (7) ステロイドミオパチー | | |

5) てんかん

6) 認知症

(運動器) (8時間・2時間)

1. 運動器疾患の理解

1) 先天性疾患

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| (1) 筋性斜頸 | (2) 股関節脱臼 | (3) 内反足 |
|----------|-----------|---------|

2) 骨折

3) 脱臼

4) 捻挫および打撲

5) 骨・関節の炎症性疾患

- (1) 骨膜炎 (2) 化膿性関節炎 (3) 骨・関節結核
(4) 変形性関節症 (5) 関節リウマチ (6) 痛風 (7) 強直性脊椎炎

6) 骨腫瘍

7) 骨系統疾患

8) 代謝性骨疾患

9) 筋および腱の疾患

10) 麻痺性疾患

11) 上肢および上肢帯の疾患

12) 脊椎の疾患

13) 下肢および下肢帯の疾患

(アレルギー・感染症) (6時間)

1. アレルギー疾患の理解

1) 呼吸器のアレルギー

- (1) 気管支喘息 (2) アレルギー性鼻炎

2) 消化器のアレルギー

3) 皮膚のアレルギー

4) 薬物のアレルギー

5) アナフィラキシー

2. 膠原病の理解

1) 膠原病

- (1) 関節リウマチ (2) 全身性エリテマトーデス
(3) 全身性硬化症 (4) 血管炎症候群
(5) 多発性筋炎および皮膚筋炎 (6) 混合性結合組織病

2) 膠原病類縁疾患

- (1) 抗リン脂質抗体症候群 (2) シェーグレン症候群
(3) ベーチェット病

3. 感染症の理解

菌血症・敗血症・心内膜炎・中枢神経系・頭頸部・呼吸器・消化器
骨盤内・皮膚皮下組織・骨関節・性・尿路・特殊・全身ウイルス

授業の進め方

講義

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔7〕脳・神経（医学書院）
新体系 看護学全書 成人看護学⑪ 運動器（メヂカルフレンド社）
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔11〕アレルギー 膠原病 感染症（医学書院）

参考図書

評価方法

終講時 客観式テストおよびレポート（50点、30点、20点）
試験時間は時間数に含む。